JA愛知厚生連
豊田厚生病院
〒470-0396 愛知県豊田市浄水町一丁目58番地1
TEL(0565)43-5000(代表) FAX(0565)43-5100(代表)
URL:https://toyota.jaaikosei.or.jp

豊田厚生 Navi 第112号 2026年夏 発行
I-000086 企画課 2026/09/16/6,500 ㊐

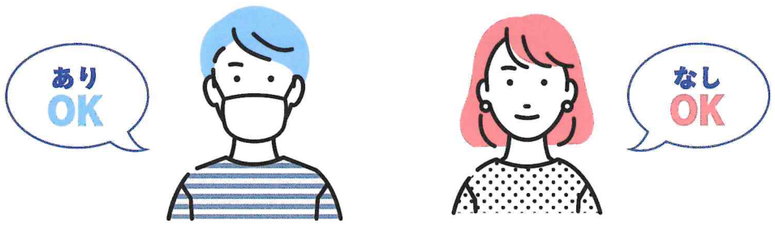
HP

Instagram
TOYOTAKOSEI.HOSPITAL

news
ニュース

病院内のマスク着用について

2026年9月より、病院内でのマスク着用はご自身の判断とさせていただきます。
なお、せき・くしゃみなどの症状がある方は、マスクの着用をお願いいたします。



マスクの購入について
マスクは、院内のコンビニエンスストアまたは自動販売機でご購入いただけます。

病棟移動売店を開始しました

入院生活の利便性向上を目的に、各フロアでの移動売店を開始しました。

開催曜日
月・水・金曜日(祝日はなし)

開催時間
5階病棟　13:30〜14:00
4階病棟　14:00〜14:30
3階病棟　14:30〜15:00
2階病棟　15:00〜15:15



販売商品一例
- 新聞
- イヤホン
- ティッシュやオムツなど



診療日カレンダー [Calendario de Atención]

■ 休診 [Feriado] (2026年)

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

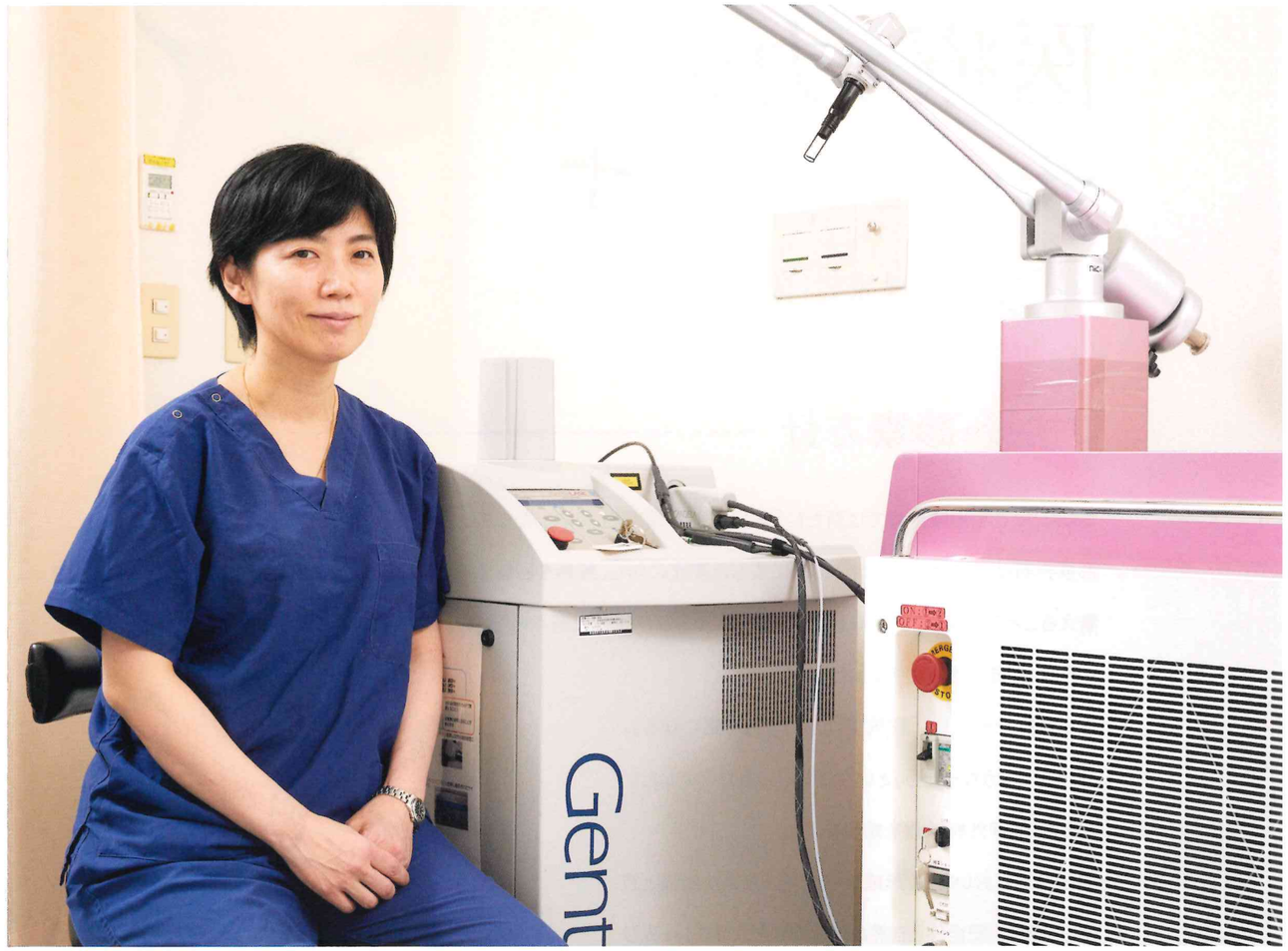
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

take free

豊田厚生病院 広報誌

豊田厚生 Navi

特集：「自分らしさ」を医療の力でサポートします



P2 —— 「自分らしさ」を医療の力でサポートします
〜「美容外科」開設のご案内〜
P4 —— 協会けんぽ 健診 Web予約開始しました!
P5 —— 胃がん検診をうけましょう
P7 —— 新たに始まる地域医療連携
P8 —— News

Vol.112
2026 / Summer
ご自由にお持ちください

特集

「自分らしさ」を医療の力でサポートします

～「美容外科」開設のご案内～



ご挨拶・診療方針

このたび、当院形成外科では新たに「美容外科」の診療を開始いたしました。

形成外科は、けがや病気などによって生じた変化に対し、機能を回復するだけでなく、見た目もできる限り自然に整えることを大切にしている診療科です。私たちはこれまで、日々の形成外科診療の中で、機能と整容の両面から患者さんを診療してきました。

その経験を生かし、「病気ではないけれど気になる」、「もう少しこうなったら」というお悩みにもお応えしたいと考え、美容外科診療を始めました。

美容外科においても、形成外科で培ってきた知識と技術を基盤に、安全性と自然な仕上がりを大切に、一人ひとりのお悩みやご希望に合わせた治療をご提案します。

「こんなことを相談してもいいのかな」ということでも、まずはお気軽にご相談ください。



美容外科責任者
形成外科代表部長　川端　明子

2026年5月開院

たなか呼吸器とぜんそくのクリニック

ー田中 博之院長に伺いましたー



院長 田中 博之

Q1 クリニックの特色を教えてください

当院は、長引く咳や喘息などの呼吸器診療に加え、風邪や生活習慣病などの一般内科も幅広く診療します。これまでの豊富な臨床経験を活かした丁寧な診療と迅速な検査で不調の原因を究明し、皆さんが病気を意識せず快適な日常生活を送れるよう、お一人おひとりに寄り添った医療を提供いたします。

Q2 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

豊田厚生病院をはじめとする総合病院との「迅速で切れ目のない連携」を重視しています。急性期の治療を終えられた皆さんの通院治療を引き継ぐ体制や、高度な検査・入院が必要な際の迅速な紹介など、日頃から密にコミュニケーションを図り、地域全体で健康を支える窓口としての役割を果たします。

Q3 地域の皆さまへメッセージをお願いします。

呼吸の不調は生活の質に直結します。「たかが咳」と我慢せず、お気軽にご相談ください。当院ではスタッフ一同が温かい笑顔で皆さんをお迎えします。豊田厚生病院ともしっかりと連携しながら、地域の皆さんが毎日を健やかに、安心して心地よい呼吸ができるよう全力でサポートしてまいります。





診察科目	呼吸器内科・内科 アレルギー科
住　所	日進市蟹甲町浅間下6-1
電　話	0561-76-5000
HP	https://tanaka-kokyuki.com/

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9：00～12：00	●	●	●	／	●	▲	／	／
15：00～18：00	●	●	●	／	●	／	／	／

▲：9:00～13:00　／休診日：木曜・土曜午後・日曜・祝日

2026年5月リニューアル

ふるいクリニック

ー古井 宏一院長に伺いましたー



院長 古井 宏一

Q1 クリニックの特色を教えてください

長年地域医療を担ってきた古井医院を父から継承し、2026年5月18日に「ふるいクリニック」としてリニューアルオープンいたしました。当院の特色は、身近なかかりつけ医でありながら、専門性の高い循環器診療を提供していることです。糖尿病・高血圧・脂質異常症などの一般内科・生活習慣病診療に加え、循環器疾患全般を幅広く診療しています。特に、地域では数少ない不整脈専門医として、心房細動をはじめとする不整脈診療に力を入れています。動悸や胸の違和感、健診で心電図異常を指摘された方など、心臓に関する症状やご不安があれば、お気軽にご相談ください。

Q2 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

地域医療連携で大切なのは、患者さんにとって最適な医療を適切なタイミングで提供することだと考えています。当院で対応可能な疾患は責任を持って診療し、高度な検査や専門的な治療が必要な際には速やかに基幹病院へご紹介します。そして治療後は地域のかかりつけ医として継続的な診療を担い、安心して地域で暮らせるよう支援してまいります。

Q3 地域の皆さまへメッセージをお願いします。

地域の皆様にとって、困ったときに自然と足が向くクリニックでありたいと考えています。病気だけを診るのではなく、その先の生活まで見据え、「自分や家族にも勧められる」と思える医療を、一人ひとりに合わせて提供してまいります。一人でも多くの皆様に「ここに相談してよかった」と感じていただけるよう、これからも地域に寄り添う医療を大切にしてまいります。





診察科目	内科・循環器内科
住　所	豊田市泉町1丁目3-1
電　話	0565-88-0011
HP	https://furui-cl.com/

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9：00～12：00	●	●	●	／	●	●	／	／
15：00～18：30	●	●	●	／	●	▲	／	／

▲：12:30～15:30　／休診日：木曜・日曜・祝日

新たに始まる地域医療連携
New regional medical cooperation

2026年3月開院
駒場整形外科 体のケアクリニック
ー清水 昭吾院長に伺いましたー



院長 清水 昭吾

Q1 クリニックの特色を教えてください

本院である内科・小児科　駒場クリニックの分院として、本院の隣に新規開院しました。お子様からご高齢の方まで、広い世代に様々な分野で地域の皆様の健康を支える地域密着型の総合的な医療体制を築いてまいります。特に骨粗鬆症や腰痛、膝痛、お子様の整形外科的なお悩みや美容医療にも対応してまいります。

Q2 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

専門外の相談でも無下にせずに、必要なら適切な医療機関を紹介し、患者さんの健康を第一に考えてまいります。特に骨粗鬆症治療の連携には力を入れており、脆弱性骨折の患者さんの再骨折予防のための医療体制を整えています。

Q3 地域の皆さまへメッセージをお願いします。

私自身がこの地域で育ち、たくさんの方々に支えられてきた経験から医療という形で、この地域に恩返しがしたいという思いで開院しました。患者さん一人一人の生活背景を理解し、分かりやすい説明と丁寧な対応を心がけます。また、痛みの改善だけでは無く、再発予防・機能改善・生活の質向上を重視し、地域に根ざした信頼されるクリニックを目指してまいります。



診療科目　整形外科・体外衝撃波治療 自費美容診療

住　所　豊田市駒場町南125番1

電　話　0565-79-5687

HP
https://komaba.clinic/

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9：00～12：00	●	●	●	●	●	◎	／	／
16：00～19：00	●	●	●	／	●	／	／	／

◎ 9:30～12:30　／休診日：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

2026年5月開院
わかばやしクリニック
ー稲垣 光昭院長に伺いましたー



院長 稲垣 光昭

Q1 クリニックの特色を教えてください

当院は内科と耳鼻咽喉科の両面から、地域の皆様の健康を末永く支える体制を整えております。内科は腎臓内科を専門とし専門的な相談やケアを行い、生活習慣病の包括的な管理にも注力し、重症化予防に努めます。
また、耳鼻咽喉科は耳・鼻・喉の全般に対応し、甲状腺疾患や睡眠時無呼吸症候群まで専門的に診療しております。

Q2 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

「顔の見える連携」を最優先しています。豊田厚生病院をはじめとする地域の基幹病院とは迅速な情報共有と適切な役割分担を行い、患者様がより安心して医療を受けられる体制を目指しています。地域の医療資源を最大限に活かし、常に地域の先生方と緊密に連携することで、皆様を支える安心のネットワークを育んでいきます。

Q3 地域の皆さまへメッセージをお願いします。

地域の皆様、いつも温かいご支援をいただき感謝申し上げます。当院は、どんな些細な健康の悩みも相談できる身近な存在でありたいと考えています。温かな対話を大切にし、地域の健康を守る一助となることが私たちの使命です。これからも豊田の地で、皆様の健やかな毎日のために、誠実な医療を追求し続けてまいります。



診療科目　内科・耳鼻咽喉科

住　所　豊田市若林東町高根下96-3

電　話　0565-53-5588

HP
https://toyota-wakabayashi.com/

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9：00～12：00	●	●	●	／	●	●	／	／
15：30～18：30	●	●	●	／	●	▲	／	／

▲：15:00～18:00　／休診日：木曜・日曜・祝日

美容外科と形成外科の違い

「美容外科」と「形成外科」で異なるのは「治療の目的」です。
形成外科では「機能障害」に対する治療、美容外科では「整容面のお悩み」に対する治療を行います。
治療する部位や方法は形成外科と重なる部分が大きいです。

上まぶた

形成外科（機能を治す）



上まぶたが垂れ下がることにより生じる視野狭窄や痛みに対する治療

美容外科（見た目を整える）



機能障害はないが、整容面で上まぶたの弛みをとったり、二重まぶたにする治療

下まぶた

形成外科（機能を治す）



下眼瞼内反による痛みや目脂、角膜障害に対する治療

美容外科（見た目を整える）



機能障害はないが、ティアトラフやゴルゴラインなどに対する整容面での治療

当院の美容外科 3つの特徴

01 形成外科の知識と技術を基盤とした美容医療

形成外科診療で培ってきた解剖学的な知識と、機能・整容の両面を考える治療技術を基盤に、美容医療を提供します。安全性と自然な仕上がりを大切に、一人ひとりに適した治療をご提案します。

02 形成外科と美容外科、双方の視点から診療



形成外科の保険診療に加え、見た目の改善を主な目的とするお悩みには、美容外科での自費診療にも対応しています。
形成外科と美容外科の両方を担うことで、患者さんのお悩みや治療目的に応じた診療をご提案できます。

03 総合病院ならではの診療体制



必要に応じて他の診療科や多職種と連携し、全身状態にも配慮した診療が可能です。総合病院の医療体制を生かし、安心して受診できる環境を提供します。

診療内容・受診に関するご案内

自由診療となる美容外科の「具体的な治療メニュー」「費用」「リスク・副作用」などの詳細につきましては、当院のウェブサイト内にて詳しくご案内しております。ご受診をご検討の方は、ぜひ下記よりウェブサイトをご覧ください。

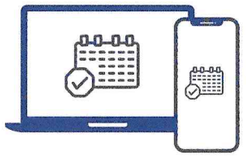
https://toyota.jaaikosei.or.jp



協会けんぽ 健診

Web予約開始しました!

対象者 **金額窓口支払いの方**
（会社請求はできません）



令和8年度より、人間ドックが補助対象となりました。
人間ドックでは胃カメラも選択できますので、是非ご利用ください。
（2月・3月の予約を承っております）

Web予約のメリット

24時間
いつでも予約可能!



健診結果を
Web上でいつでも
確認可能!

Web専用
QRコード

こちらのQRコードから
ご予約いただけます

協会けんぽWeb

スマートフォンで
読み取って簡単予約!

JA愛知厚生連
豊田厚生病院 健康管理センター
TEL 0120-78-5050（直通）

電話対応時間
平日 9：00～16：30
第 1・3 土曜日 9：00～12：00

豊田厚生病院HP

休診日につきましてはホームページの「営業日カレンダー」をご覧ください。

先生のおはなし

胃がん検診をうけましょう



豊田厚生病院　消化器内科病棟部長
古根　聡

『胃がんについて』

日本人にとって身近ながんである胃がんは、新規患者数は2016年をピークに微減しているものの、依然として全ての**がんの中で3番目に多い患者数**です。

原因として一番有名なのがピロリ菌です。ピロリ菌は青少年期までに胃内に感染するとされ、一度感染すると胃の中にずっと生息し、胃炎、胃潰瘍、そして胃がんの発生に関与します。このほか、加齢や喫煙、塩分過多や野菜不足などの生活習慣も関係します。

『胃がんの検診について』



初期の胃がんは自覚症状がほとんどなく、発見時の進行度が予後に大きく影響するため、**症状がなくても定期的な検診を受けることが重要**です。

検診は主に50歳以上を対象に推奨され、胃X線検査（バリウム検査）は年1回、内視鏡検査（胃カメラ）は2年に1回が目安とされています。胃カメラは小さな異常の発見に優れ、必要に応じてその場で組織検査も可能です。検診でがんと診断される割合は、バリウムで約1000人に1人、胃カメラで2～3人程度とされています。

胃がん検診には**多くの自治体で補助制度があり、数百円から数千円程度の自己負担で受診することが可能**です。条件によっては無料となる場合もあります。こうした制度を活用することで、より気軽に検診を受けることができます。

とはいえ、胃カメラやバリウム検査に抵抗感がある方もいます。そのような方には、まずは血液検査のみでピロリ菌感染の有無や胃粘膜の状態を調べ、胃がんのなりやすさを分類する「ABC検診（胃がんリスク検診）」という方法もあります。がんを直接見つける検査ではありませんが、検診や治療の受け方を考える目安になります。ピロリ菌が陽性の場合は、除菌により胃がんになるリスクの低下が期待できます。

『最後に』

胃がんは完全な予防法はありませんが、一方で**早期に発見できれば治療成績が良好**ながんです。適切に検診を受けることが、自分の健康を守る第一歩となります。

胃X線検査制度管理調査にて A評価をいただきました

全国労働衛生団体連合会の実施する「胃X線検査制度管理調査」においてA評価をいただきました。

この検査は健康診断でお馴染みの、バリウムを飲んで胃の形や粘膜の異常を調べる検査です。撮影技術や読影技術、精度管理指標などの管理体制を審査され、信頼性の高い施設として認定を受けました。

